

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-I-17

4-I-17

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	各種施設のバリアフリー化
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	17 各種施設のバリアフリー化	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光交流機構、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	【事業目的】	○ 各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の利便性向上を図る。	
	【事業内容】	○ 公共施設及び公共交通施設等の現状調査を実施し、エレベーターやエスカレーターの整備など、各種施設のバリアフリー化を推進する。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 事業者への改修補助または補助制度の紹介を行う。	
	【R2年度実績】	● 国等の補助事業の紹介を行った。 ● 営業力強化支援事業として、民間宿泊施設のバリアフリー化の取組を支援する補助金を創設した。	
課題・今後の取組	【課題】	■ 民間事業者の費用負担が課題となっている。	
	【今後の取組】	■ 補助率が良い補助事業を紹介する。	
事業評価	【事業の達成度】 〔 a (b) c 〕	◇概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。	
	【事業実施の効果】 〔 a (b) c 〕		
	【総合評価】 〔 A (B) C 〕		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。